

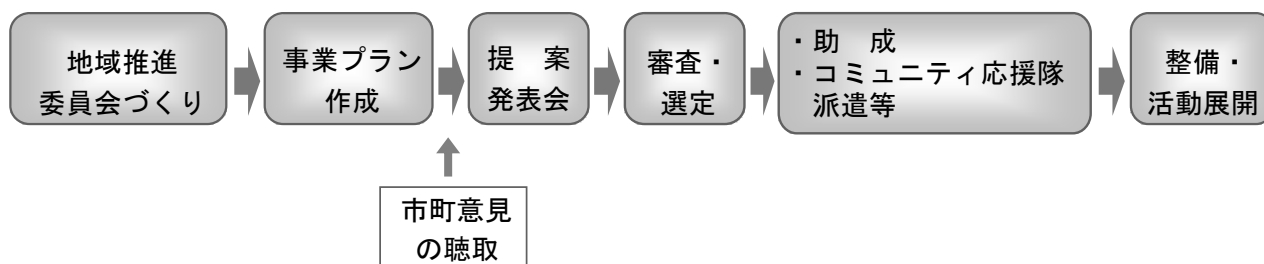
参 考

県民交流広場等に関連する資料

1 県民交流広場事業の概要

事業目的	県民一人ひとりが、身近な地域を舞台に多彩な分野で地域づくり活動に取り組むための活動の場の整備と活動に要する経費を助成することを通じて、県民の参画と協働によるコミュニティの再生をめざす。	
事業財源	第7期法人県民税（法人税割）超過課税収入 〔収入期間：平成17年11月～平成22年10月〕	
選定期間	平成18年度～平成22年度 ※16年度、17年度はモデル事業を実施	
助成要件	助成対象者	自治会、婦人会、老人クラブ、PTA、各種グループ等で構成された住民組織（地域推進委員会）。※まちづくり協議会等の既存組織も可
	助成対象事業	コミュニティが取り組む活動の場の整備、及び新たな地域づくり活動の立ち上げや充実
	助成対象地域	小学校区（平成16年5月時点の校区を基準）。 ただし、コミュニティの実情に応じて校区の統合又は分割も可
	助成限度額	1小学校区：整備費1,000万円、活動費300万円を限度額とする。
	特例措置	整備費・活動費間での配分変更（200万円限度）等
	地域選定	県民局ごとに、地域が作成した事業プラン（整備・活動内容、収支計画等）の提案発表会を公開で開催し、専門家、広域地域団体等で構成する広域推進委員会の意見をふまえて、県民局が選定する。 （審査事項） ・地域の意欲・主体性等の熟度 ・事業プランに関する地域合意 ・事業プランの実現性 ・広場運営及び活動の持続性・自立性
	助成方法	県民局から選定地域に対し、概ね5年間で毎年度必要額を助成

<事業の流れ>



2 県民交流広場事業 実施地区一覧

県民局	市町名	全小学校区数	実施校区数※					合計	実施地区
			16・17	18	19	20	21		
神戸	神戸市	170	3	7	44	47	23	124	<p>〔TEL事業〕</p> <p>《長田区》①重池〈16年度〉 《北区》②大原・桂木〈17年度〉、③有馬〈17年度〉</p> <p>〔18年度〕</p> <p>《中央区》①港島 《兵庫区》②熊野、③夢野、④川池（分割） 《長田区》⑤真野</p> <p>《須磨区》⑥東落合《垂水区》⑦塩屋</p> <p>〔19年度〕</p> <p>《東灘区》①本山南、②御影南、③御影北、④六甲アイト東、⑤六甲アイト西、⑥福池</p> <p>《灘区》⑦西郷（分割）、⑧篠原、⑨稗田</p> <p>《中央区》⑩二宮（分割）、⑪小野柄（分割）、⑫吾妻（分割）、⑬楠北、⑭雲中、⑮若菜（分割）</p> <p>《兵庫区》⑯ひよどり、⑰菊水、⑱兵庫大開、⑲福原・西橋（分割）、⑳和田岬、㉑中道（分割）</p> <p>《北区》㉒北五葉、㉓広陵、㉔大池、㉕ひよどり台、㉖有野台・東有野台、㉗花山、㉘道場、㉙大沢、㉚筑紫が丘</p> <p>《長田区》㉛高取山、㉜大日丘、㉝長田</p> <p>《須磨区》㉞友が丘（分割）、㉟神の谷、㊱竜が台、㊲松尾、㊳花谷</p> <p>《垂水区》㊴桃山台、㊵霞ヶ丘、㊶高丸、㊷舞子、㊸多聞東</p> <p>《西区》㊹神出、㊺春日台、㊻岩岡第1（分割）、㊼岩岡第2（分割）、㊽桜が丘、㊾玉津、㊿月が丘</p> <p>〔20年度〕</p> <p>《東灘区》①渦が森、②本庄、③本山東、④本山西、⑤魚崎北（分割）、⑥魚崎南（分割）</p> <p>《灘区》⑦王子、⑧高羽、⑨成徳、⑩摩耶、⑪六甲、⑫新在家（分割）</p> <p>《中央区》⑬春日野、⑭北野（分割）、⑮神戸諏訪山（分割）、⑯神戸下山手（分割）、⑰山の手（分割）、⑱東川崎（分割）</p> <p>《兵庫区》⑲湊山、⑳明親、㉑荒田、㉒浜山、㉓入江（分割）、㉔平野</p> <p>《北区》㉕小部東、㉖唐櫃、㉗南五葉、㉘八多、㉙藤原台、㉚淡河、㉛谷上</p> <p>《長田区》㉜みすが、㉝宮川、㉞池田、㉟若松（分割）、㊱野田北部（分割）</p> <p>《須磨区》㊲西須磨、㊳西落合</p> <p>《垂水区》㊴つつじが丘、㊵小束山、㊶上高丸、㊷星陵台、㊸西脇、㊹本多聞、㊺東垂水</p> <p>《西区》㊻学園西町、㊼狩場台、㊽学園東町、㊾榎野台、㊿北山、㊽西神南、㊾高津橋、㊿押部谷</p> <p>〔21年度〕</p> <p>《東灘区》①本山、②青木南、③住吉</p> <p>《灘区》④鶴甲、⑤なぎさ（分割）</p> <p>《中央区》⑥籠池</p> <p>《北区》⑦泉台、⑧君影、⑨長尾、⑩有野台第2、⑪甲緑</p> <p>《長田区》⑫志里池（分割）、⑬北町（分割）、⑭真陽、⑮二葉、⑯長楽</p> <p>《須磨区》⑰高倉台、⑱多井畑（分割）、⑲菅の台、⑳横尾、㉑北須磨</p> <p>《垂水区》㉒多聞台、㉓多聞南</p> <p>《西区》㉔竹の台、㉕出合</p>
									小計
阪神南	尼崎市	44	1	2	6.5	7	7	23.5	<p>〔TEL事業〕①立花〈17年度〉</p> <p>〔18年度〕①尾浜（分割）、②武庫第8（分割）、③園田南（分割）</p> <p>〔19年度〕①中央（分割）、②西難波（分割）、③神崎・浜第1（分割）、④金楽寺（分割）、⑤大庄（分割）、⑥大庄中央（分割）、⑦浜田（分割）、⑧今北（分割）、⑨西大島（分割）、⑩南塚口（分割）、⑪武庫第9（分割）</p> <p>〔20年度〕①小田コミュニティ（分割）、②下坂部（分割）、③西長洲（分割）、④元浜（分割）、⑤道意（分割）、⑥大庄西（分割）、⑦塚口西（分割）、⑧塚口本町（分割）、⑨堂松南（分割）、⑩武庫第2（分割）、⑪武庫第4（分割）、⑫武庫第6（分割）</p> <p>〔21年度〕①杭瀬（分割）、②長洲（分割）、③武庫川（分割）、④蓬川（分割）、⑤崇徳院（分割）、⑥稲葉荘（分割）、⑦東大島（分割）、⑧堂松北（分割）、⑨武庫第10（分割）、⑩園田北（分割）、⑪若王寺（分割）、⑫小中島（分割）、⑬戸ノ内（分割）</p>
									西宮市
	芦屋市	8	2	1	1	3	1	8	<p>〔TEL事業〕①大原〈16年度〉、②西藏〈17年度〉</p> <p>〔18年度〕①潮見</p> <p>〔19年度〕①翠ヶ丘</p> <p>〔20年度〕①打出（分割）、②春日（分割）、③浜風、④前田</p> <p>〔21年度〕①朝日ヶ丘</p>
	小計	94	3	10	7.5	11	10	41.5	〔58地区：①6、②7、③10、④12、⑤17、⑥16〕

県民局	市町名	全小学校区数	実施校区数※					合計	実施地区
			16・17	18	19	20	21		
阪神北	伊丹市	17	0	4	1	3	3	11	[18年度] ①稲野、②桜台、③天神川、④昆陽里 [19年度] ①鈴原 [20年度] ①神津、②池尻、③笹原 [21年度] ①有岡、②花里、③緑丘
	宝塚市	24	2	6	0	6	2	16	[特別事業] ①長尾台(16年度)、②西谷(17年度) [18年度] ①宝塚第一、②高司、③逆瀬台、④小浜、⑤中山台ニュータウン(2校区) [20年度] ①山本山手、②長尾(3校区)、③美座、④末成 [21年度] ①仁川、②西山
	川西市	16	3	3	1	2	0	9	[特別事業] ①川西北(17年度)、②緑台・陽明(2校区)(17年度) [18年度] ①加茂、②多田、③北陵 [19年度] ①久代 [20年度] ①多田東、②けやき坂
	三田市	20	0	2	0	3	1	6	[18年度] ①けやき台、②高平 [20年度] ①藍、②あかしあ台、③ゆりのき台 [21年度] ①狭間が丘
	猪名川町	7	0	0	0	2	5	7	[20年度] ①大島、②楊津 [21年度] ①阿古谷、②猪名川、③白金、④つつじが丘、⑤松尾台
	小計	84	5	15	2	16	11	49	[45地区: ⑬1、⑰3、⑱14、⑲2、⑳14、㉑11]
東播磨	明石市	28	0	5	5	6	6	22	[18年度] ①松が丘、②王子、③藤江、④大久保南、⑤魚住 [19年度] ①明石、②鳥羽、③貴崎、④谷八木、⑤二見北 [20年度] ①林、②沢池、③高丘西、④江井島、⑤錦が丘、⑥花園 [21年度] ①朝霧、②和坂、③大久保、④山手、⑤清水、⑥二見西
	加古川市	28	1	2	1	1	1	6	[特別事業] ①西神吉(17年度) [18年度] ①別府町(2校区) [19年度] ①志方町西 [20年度] ①加古川 [21年度] ①米田町
	高砂市	10	1	0	1	0	2	4	[特別事業] ①荒井(17年度) [19年度] ①曾根 [21年度] ①米田(2校区)
	稲美町	5	1	0	2	2	0	5	[特別事業] ①天満南(16年度) [19年度] ①天満東、②加古 [20年度] ①天満、②母里
	播磨町	5	1	0	1	0	0	2	[特別事業] ①播磨(17年度) [19年度] ①播磨北
	小計	76	4	7	10	9	9	39	[37地区: ⑬1、⑰3、⑱6、⑲10、⑳9、㉑8]
北播磨	西脇市	8	1	1	3	1	1	7	[特別事業] ①桜丘(17年度) [18年度] ①芳田 [19年度] ①西脇・津万・比延(3校区) [20年度] ①日野 [21年度] ①楠丘
	三木市	17	0	3	0	1	8	12	[18年度] ①口吉川、②細川(2校区) [20年度] ①志染 [21年度] ①吉川(4校区)、②三木(3校区)、③別所
	小野市	8	2	2	2	2	0	8	[特別事業] ①下東条(2校区)(17年度) [18年度] ①小野(2校区) [19年度] ①河合、②来住 [20年度] ①市場、②大部
	加西市	11	1	1	2	3	2	9	[特別事業] ①西在田(17年度) [18年度] ①富田 [19年度] ①在田、②富合 [20年度] ①北条東、②宇仁、③九会 [21年度] ①北条、②下里
	加東市	9	0	1	2	2	0	5	[18年度] ①鴨川 [19年度] ①米田、②福田 [20年度] ①上福田、②社
	多可町	7	1	0	2	0	2	5	[特別事業] ①大和(16年度) [19年度] ①中北、②中南 [21年度] ①加美(2校区)
小計	60	5	8	11	9	13	46	[35地区: ⑬1、⑰3、⑱6、⑲9、⑳9、㉑7]	

県民局	市町名	全小学校区数	実施校区数※					合計	実施地区
			16・17	18	19	20	21		
中播磨	姫路市	71	2	10	18	11	3	44	[?]事業 ①太市(16年度)、②余部(17年度) [18年度] ①城西、②城北、③安室、④広畑第二、⑤大津、⑥勝原、⑦八木、⑧花田、⑨谷外、 ⑩豊富 [19年度] ①船場、②広峰、③白鳥、④船津、⑤峰相、⑥高浜、⑦津田、⑧英賀保、⑨広畑、⑩南大津、 ⑪的形、⑫谷内、⑬山田、⑭香呂・香呂南(2校区)、⑮旭陽、⑯白浜、⑰筋野 [20年度] ①青山、②林田・伊勢(2校区)、③八幡、④大津茂、⑤網干・網干西(2校区)、⑥妻鹿、⑦大塩、 ⑧四郷、⑨山之内 [21年度] ①城 巽、②御国野、③野里
	神河町	9	2	4	1	1	0	8	[?]事業 ①新田・作畑(17年度)、②川上(17年度) [18年度] ①上小田、②越知谷第一・栗賀・大山(3校区) [19年度] ①長谷 [20年度] ①南小田
	市川町	5	0	4	0	1	0	5	[18年度] ①瀬加、②川辺・小畑・甘地(3校区) [20年度] ①鶴居
	福崎町	4	0	0	0	0	1	1	[21年度] ①福崎
	小計	89	4	18	19	13	4	58	[51地区: ⑬1、⑰3、⑱14、⑲18、⑳11、㉑4]
西播磨	相生市	7	1	0	3	1	1	6	[?]事業 ①相生(17年度) [19年度] ①青葉台、②双葉、③旭(分割) [20年度] ①矢野、②陸(分割) [21年度] ①若狭野
	たつの市	18	2	5	1	1	0	9	[?]事業 ①香島(17年度)、②半田(17年度) [18年度] ①小宅、②揖西東、③神岡、④新宮、⑤室津 [19年度] ①菅田 [20年度] ①河内
	赤穂市	10	0	2	2	1	1	6	[18年度] ①坂越、②原 [19年度] ①有年、②西部 [20年度] ①尾崎 [21年度] ①高雄
	宍粟市	20	1	5	2	3	0	11	[?]事業 ①鷹巣(16年度) [18年度] ①神野、②蔦沢(2校区)、③土方、④下三方 [19年度] ①繁盛、②波賀 [20年度] ①城下、②戸原、③道谷
	太子町	4	0	0	1	0	0	1	[19年度] ①龍田
	上郡町	7	0	1	0	1	0	2	[18年度] ①高田 [20年度] ①赤松
	佐用町	10	0	0	0	4	5	9	[20年度] ①長谷(分割)、②石井(分割)、③海内(分割)、④江川、⑤中安、⑥徳久、⑦三河 [21年度] ①幕山 ②上月 ③久崎 ④三日月 ⑤平福(分割)
	小計	76	4	13	9	11	7	44	[47地区: ⑬1、⑰3、⑱12、⑲9、⑳15、㉑7]
但馬	豊岡市	30	1	5	7	4	6	23	[?]事業 ①奈佐(16年度) [18年度] ①中筋、②合橋、③福住、④寺坂、⑤城崎 [19年度] ①港(2校区)、②市街地、③田鶴野、④弘道、⑤高橋、⑥清滝 [20年度] ①神美、②三方、③八代、④小坂 [21年度] ①三江 ②中 ③竹野南 ④日高(2校区) ⑤資母
	養父市	15	1	3	1	3	1	9	[?]事業 ①関宮(17年度) [18年度] ①三谷、②浅野、③小佐 [19年度] ①伊佐 [20年度] ①高柳、②広谷、③南谷 [21年度] ①八鹿
	朝来市	13	0	0	2	7	4	13	[19年度] ①与布土、②東河 [20年度] ①糸井、②大蔵、③竹田、④朝来(2校区)、⑤生野(2校区) [21年度] ①和田山 ②梁瀬 ③栗鹿 ④奥銀谷
	香美町	11	0	1	1	5	3	10	[18年度] ①小代 [19年度] ①長井 [20年度] ①香住、②奥佐津、③余部(2校区)、④村岡 [21年度] ①佐津 ②兎塚 ③射添
	新温泉町	10	1	4	2	1	0	8	[?]事業 ①久斗山(16年度) [18年度] ①春来、②八田、③浜坂南、④浜坂西 [19年度] ①照来、②熊谷 [20年度] ①奥八田
	小計	79	3	13	13	20	14	63	[58地区: ⑬2、⑰1、⑱13、⑲12、⑳17、㉑13]

県民局	市町名	全小学校区数	実施校区数※					合計	実施地区
			16・17	18	19	20	21		
丹波	篠山市	19	2	1	2	3	5	13	[「E」事業] ①大芋 (17年度)、②大山 (17年度) [18年度] ①西紀北 [19年度] ①日置、②雲部 [20年度] ①城南、②古市、③西紀中 [21年度] ①福住 ②岡野 ③村雲 ④畑 ⑤西紀南
	丹波市	25	2	4	2	3	4	15	[「E」事業] ①黒井 (16年度)、②神楽 (17年度) [18年度] ①遠阪、②吉見、③鴨庄、④美和 [19年度] ①久下、②前山 [20年度] ①佐治、②上久下、③竹田 [21年度] ①中央 ②葛野 ③北 ④東
	小計	44	4	5	4	6	9	28	[28地区: ⑩1、⑩3、⑩5、⑩4、⑩6、⑩9]
淡路	洲本市	13	0	4	1	2	2	9	[18年度] ①中川原、②都志、③広石、④鮎原 [19年度] ①堺 [20年度] ①安平、②第3小学校 [21年度] ①大野 ②鳥飼
	南あわじ市	20	2	1	2.5	3	0.5	9	[「E」事業] ①阿万 (16年度)、②伊加利 (17年度) [18年度] ①倭文 [19年度] ①松帆、②神代、③潮美台 (分割) [20年度] ①市、②賀集、③津井 [21年度] ①北阿万 (分割)
	淡路市	24	1	3	5	3	0	12	[「E」事業] ①江井 (17年度) [18年度] ①多賀、②塩田、③佐野 [19年度] ①釜口、②志筑、③生穂、④長沢、⑤山田 [20年度] ①仁井、②中田、③大町
	小計	57	3	8	8.5	8	2.5	30	[31地区: ⑩1、⑩2、⑩8、⑩9、⑩8、⑩3]
合計	829	38	104	128	150	103	523	[528地区: ⑩11地区、⑩25地区、⑩95地区、⑩135地区、⑩159地区、⑩103地区]	

※「校区数」は、校区の統合や分割を含む実施地区を小学校区数に換算したもの。特に分割の場合、助成配分等から校区数を換算している。

〔朝来市与布土地区〕

若者の参加を呼びかけるチラシ

与布土地域の
若者全員集合!

私たちがだからこそ出来る! 私たちでもやれば出来る!
与布土を元気に!
そして、**与布土を変える!**

第1回意見交換会

8月29日(土)午後7時30分~

場所: 与布土地区コミュニティセンター

参加対象: 高校生~40歳代の若者

グループの仲間や友だちなど誘いあって、お越し下さい!(参加自由です!)

※第2回目以降の流れは参加者で話し合いながら、進めていく予定です!

与布土が元気になるには、私たち若者も頑張らないとっ!
若者が集まって、未来の与布土を創っていきましょう!



主催: 与布土地域自治協議会

問合せ先: TEL079-676-3030(協議会事務局)
yofudo-jichikyuu@asago-net.jp

〔西宮市東山台地区〕

若者の参加を呼びかけるチラシ

「わが町わが村の『地域の担い手』発掘プログラム」作成に当たっての基本的な考え方

2009.7.21 育成会 小西一郎

【ナシオン創造の森】育成会 わが町わが村の『地域の担い手』発掘プログラムを計画するに当たり、下記の点を考慮しました。

1. 自然環境意識が高まりつつある現在、このウネリをベネに、豊かな自然が残っている西宮市北部の地域住民が地域の自然環境に誇りを持つような、環境保全意識を高めたい。そのためにこの分野の一流の研究者と技術者を招聘した講習・研究会とする。
2. 本講習・研究会は、単に里山活動のファンを増やすことだけでなく、里山活動が自然の営み(自然環境科学)や私たちの生活文化との関係にあるのか、理解してもらえるような内容にしたい。
3. これにより、趣味としての里山ファンではなく、更に里山の論理を身に付けた故の担い手を育てたいと考えている。
4. 自然環境に働きかける作業は、基本を理解する必要があるため、実習体験を通じて安全作業を体得できるプログラムにした。
5. 最後に、共に汗をかく里山活動を通じて、地域住民のコミュニティーの広がりや深まりが期待できるようなわが町の地域の担い手発掘する。
6. 発掘した「次の地域の担い手」は、是非、アフターフォローしていきたいと考えている。

「わが町わが村の『地域の担い手』発掘事業」(兵庫県企画県民文化局 県民生活課 県民交流広場係) (計画書)【ナシオン創造の森】育成会『地域の担い手』発掘プログラム

9月5日 講演会 「里山活動の意義」 ----- 服部先生
(土) (里山活動が地球環境レベルや私たちの生活文化にまで関係していることを強調する)
活動指導会 「ギャップ調査データから読める生物多様性」 ----- 中尾・小西の発表に対する指導
(中尾さん調査のギャップ調査データとその解析結果について、先生から指導を受ける)
プログラム
T10:00-11:00 講演 「里山活動の意義」 服部保先生 兵庫県立大学教授
T11:00-11:30 事例発表 「ギャップ調査と結果」 中尾利子
T11:30-12:00 質疑応答 指導
T13:00-15:00 ギャップ現地指導 服部保先生 兵庫県立大学教授

11月21日 講演会 「里山活動と生物多様性」 ----- 山瀬先生
(土) (里山活動と生物多様性の関係を科学的観察・測定による実践)
活動紹介 「樹木博物館刊行」紹介 ----- 三木会発表
(【ナシオン創造の森】内のデータだけで製作した樹木図鑑の刊行記念発表会)
プログラム
T10:00-11:00 講演 「里山活動と炭素固定増加と生物多様性増加」
山瀬敬太郎 兵庫県立農林水産技術総合センター
先生 森林林業技術センター 主任研究員
T11:00-11:30 質疑応答
T11:30-12:00 刊行発表 「樹木博物館」 三木会メンバー
昼食 ナシオンホール
T13:00-15:00 フィールド 伐採後の防災機能を高める技術 山瀬先生
講演 「樹木博物館」掲載樹木の観察・鑑別 三木会

1月23日 講習会 「安全な伐木作業と事故例紹介」 ----- 兵庫県森林災害防止協会
(土) 実技講習会 「放牧林での伐木作業実習」 ----- 及び兵庫県林業普及指導員
(放牧林の手入れと伐木実習・作業前後の比較を実感)
プログラム
T10:00-10:45 講演 「安全な伐木作業と事故例紹介」 兵庫県森林災害防止協会
T10:45-11:00 質疑応答
T11:00-12:00 現地で伐木指導 兵庫県林業普及指導員
昼食 兵庫県林業普及指導員
T13:00-15:00 伐木実習 兵庫県林業普及指導員

受講対象者は、嶺南地域全域と考えています。

以上

〔宝塚市長尾台地区〕

環境部会の勉強会資料

コミュニティひばり
環境部会
プレゼンテーション



北雲雀丘陵地 現在までの経緯

面積2.8haの「北雲雀丘陵地」は長尾通山の東麓に位置し、新羅山・石切山と一体になった里山。古くは火打石が切り出されたことから、「火打」などの地名が今も残る。
約30年前迄、ゴルフ場やプールなどのレジャー施設があったが、廃業後一帯は自然林に戻り、現在は昆虫・鳥・動物など多くの生き物が生息している。
この緑地は団地用地として再生機構が所有していたものを、市民の署名運動により、平成18年9月自然緑地保全を目的に宝塚市が取得した。

北雲雀丘陵地 所在地



北雲雀丘陵地 区画図



北雲雀丘陵地 ジオラマ作成



北雲雀丘陵地 自然観察会 毎月第一土曜日午前



〔加東市上福田地区〕

「わたしの村の自慢マップ」

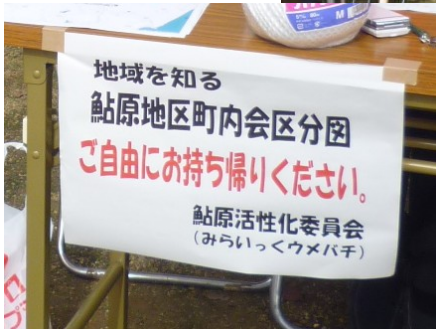
(洲本市結原地区)

マップを作成し、へその市で配布

子供から老人まで楽しめるふさとづくり
第18回 淡路へその市



主催 結原ふれあい実行委員会
みらいっくクラブ運営委員会(協賛)
協賛 結原商工会
結原公民館
結原連合町内会
結原老人会
スポーツクラブ21 あいむら
後援 洲本市
五色町商工会
洲上神社天満宮



(神戸市下山手地区)

数カ国語で参加を案内したチラシ

下山手の獅子舞い

the shi · shi · mai

なごみかい 和会

下七会館で、獅子舞の練習をやっています。ぜひ、一度見に来てください。



快樂的獅子舞

楽しい獅子舞(中国語)

Thú vậ

楽しい!(ベトナム語)

見に来てね。

함께 하자

一緒にやろうよ(韓国)

Please come to see once.

一度見に来てね(英語)



お問い合わせ

- ・和会(なごみかい) 代表 熊代
- ・下七会館(しもしちかいかん) 078-361-4040



練習日時: 毎週金曜日 20時~22時

(宍粟市道谷地区)

ザンダカ踊り練習及び復活の案内

お知らせ

今年の秋に「ザンダカ踊りと盆踊り」を計画、実行の運びとなりました。ザンダカ踊りにつきましては、約20年ぶりになるかと思えます。そこで今回、県民交流広場事業の活動で「伝統芸能の継承」としてお喜ぶとお願いいたします。約1時間程度やってみる事に決まり、踊り手も決まりました。大変急な事ですが、9月11、12日の3日間の短期練習での実施を行います。みなさんのご理解、ご協力をお願いします。また子供から大人の方まで練習も見に来てください。ザンダカ、夏祭り盆踊りの詳しい日時、内容等は後日お知らせいたします。楽しみにお待ちください。



8月8日 ぶじなふれあい夏祭り

ぶじなふれあい夏祭りのお知らせ!

8月15日は「だんだんが原」で「盆踊り大会」を開催いたします。だんだんが原公民館より出発、町民会館へお参りください。盆踊り大会は、盆踊り大会です!

- ★ 3時00分 「だんだんが原」公民館集合、準備。
- ★ 3時30分 公民館出発〜お参り〜公民館。
- ★ 5時00分 「夏祭り盆踊り」公民館集合、準備。
- ★ 6時30分 「盆踊り大会」準備〜いよいよ盆踊り大会です。
- ★ 7時30分 ぶじなふれあい夏祭り 盆踊り大会 終了。
- ★ 9時00分 夏祭り盆踊り、自治会解散です。

※もし、14日が雨天の場合は15日に延期します。15日が雨天の場合は道谷小学校体育館で4時から「だんだんが原」の集まりから上記の予定時刻と並びにお願いします。

(明石市貴崎地区)

様々な行事をお試し会として開催

やってみて!! クラブお試し会 H21.11.15 (日)

菊花展でお出逢い。地域の方が観ていただきました

パッチワーク 展示販売

12月からの新クラブ「折り紙」クリスマスも飾ろう

料理教室

今回は実演と試食だけでしたが、「家で作りたいからレシピも教えて〜」「私も!」見学していた方から声が上がります...

映画会

大スクリーンで映し出されたアルプスの美しさのため息...

五目並べ

沖縄ドーナツは完売

クラブお試し会、たくさんの方々が訪れました。楽しんでいただけましたか? クラブやイベントは自治会回覧の他、「ぶっこいこ」の掲示板でもお知らせしています。「興味はあるけど、参加したくない!」

〔姫路市青山地区〕

新たな行事の企画と運営

昔遊び・伝承遊びフェスティバル

共催 青山地区連合自治会
青山まちづくり協議会

日時 1月17日(日)(雨天決行)
午前10時30分～

場所 稲岡神社境内・青山県民交流広場

連絡先 266-1081(岡嶋・松本)

プログラム

☆餅つき大会

☆体験コーナー

こま回し・竹馬・けん玉

紙芝居・伝承遊びなど……

☆カルタ大会(景品あり)

☆ふれあい喫茶

※子どもには、記念品があります。一部有料

※駐車場はありません。徒歩か自転車でおこし下さい

協力団体 青山消防分団 青山地区生涯クラブ 民生委員・児童委員
青山地区各子ども会 青山1000人会 青山幼稚園 PTA
青山小学校 PTA 大白書中学校青山地区 PTA
(株)テクノエイドケアセンター姫路



〔丹波市久下地区〕

「リーダー研修会」を広報誌でPR

「地域の担い手」の発掘

地域コミュニティの活性化のために、人材を発掘、養成する「リーダー研修会」を3回シリーズで開催しています。第1回は7月25日、講師に神戸大学の中原雅也教授を迎え、会や団体の運営と会議の進め方・まとめ方について研修しました。

地域リーダーアンケートを実施

地域コミュニティの活性化のために、人材を発掘、養成する「リーダー研修会」を3回シリーズで開催しました。現在は、この研修会の参加者にアンケートを実施して、今後の地域における人材確保の取り組みの参考とさせていただきますと考えています。



「地域づくり担い手」発掘

～地域リーダー研修会を振り返って～

地域コミュニティの活性化のための「リーダー研修会」を3回シリーズで開催し、関係者にアンケート調査を実施しました。そのアンケートの結果をもとに、2月20日、振り返りのワークショップをおこないました。

4 県民交流広場に関連した主な新聞記事（H21年4月以降）

（※県民生活課へ情報提供のあったもの、ほかの中から主なものを抜粋）

○新聞記事等

日付	新聞	県民局	概要	番号
4. 7 (火)	読売新聞	中播磨	⑳姫路市青山地区 取組の紹介 「子ども中心 交流の場」	1
4.12 (日)	丹波新聞	丹波	⑳丹波市上久下地区 取組の紹介 「化石展示場整備へ」	2
4.23 (木)	丹波新聞	丹波	⑳丹波市佐治地区 取組の紹介 「役場跡地に拠点完成」	3
4.28 (火)	神戸新聞	神戸	㉑神戸市北区有馬地区 取組の紹介 「有馬温泉の歴史知って」	4
7.19 (日)	毎日新聞	阪神北	⑳宝塚市宝塚第1地区 取組の紹介 「模擬店に長い列」	5
7.19 (日)	神戸新聞	阪神北	⑳三田市高平地区 取組の紹介 「地域ぐるみで生ごみ削減、堆肥化」	6
7.27 (月)	神戸新聞	淡路	⑳南あわじ市倭文 取組の紹介 「田舎暮らしで活性化を 都市と農村の懸け橋に」	7
7.30 (木)	神戸新聞	中播磨	㉑神河町長谷地区 取組の紹介 「村営スタンド苦戦」	8
9. 6 (日)	神戸新聞	北播磨	⑳加西市宇仁地区 取組の紹介 「加西の自然 味わいの交流」	9
11. 2 (月)	神戸新聞	神戸	⑳神戸市北区八多地区 取組の紹介 「野外ステージ完成」	10
11. 2 (月)	神戸新聞	阪神北	⑳三田市藍地区 取組の紹介 「地域の新たな交流拠点に」	11
12.16 (水)	朝日新聞	神戸	⑳神戸市西区西神南地区 取組の紹介 「家事手伝ってポイント 将来のサービスゲット」	12
12.20 (日)	丹波新聞	丹波	⑳篠山市城南地区 取組の紹介 「城南まち協で児童クラブ 運営母体のNPO設立」	13
12.20 (日)	毎日新聞	丹波	⑳篠山市城南地区 取組の紹介 「農業通じふれあい」	14
1.10 (日)	丹波新聞	丹波	㉑篠山市福住地区 取組の紹介 「古民家を改装し拠点に」	15
1.17 (日)	神戸新聞	東播磨	⑳明石市花園地区 取組の紹介 「交流広場開所を記念 炊き出しに当時思う」	16
1.17(日)	日本海新聞	但馬	⑳新温泉町八田地区 取組の紹介 郷土料理やゲーム堪能	17
1.30(土)	神戸新聞	但馬	21 射添地区 ・ 兎塚地区 取組の紹介 射添と兎塚に「県民交流広場」 きょう完成記念の式典	18
4.28 (火)	神戸新聞	—	わが町わが村の「地域の担い手」発掘プログラム 「地域の担い手発掘」	19
5.11 (月)	兵庫ジャーナル	—	わが町わが村の「地域の担い手」発掘プログラム 「地域の担い手づくりなど2事業で取組み」	20
11.17 (火)	神戸新聞	—	県の県民交流広場事業 新たに98地区選定	21
11.21 (土)	神戸新聞	—	アワード 県民交流広場PRで催し	22
12. 7 (月)	兵庫ジャーナル	—	地域コミュニティ・アワード'09 県民交流広場の実施団体が成果発表	23

①姫路市青山地区
読売新聞(21.4.7)

②丹波市上久下地区
丹波新聞(21.4.12)

日) 言 置 業 斤 局

子ども中心交流の場

姫路・青山地区住民ら集会所改装

子どもを中心とした地域の交流スペースにしよう
と、姫路市青山地区の住民グループ「青山まちづくり協議会」(北山敏樹会長)が、集会所(3階建て)を改装した。
同地区では、2005年10月、路上生活者が火炎瓶を投げられ、焼殺される少年事件が発生。その後アンケートで、「子育てについて語りあえる場所がほしい」とする親が約6割に上ることがわかり、県民交流広場事業の助成金



喫茶コーナーでコーヒーを受け取る住民ら(姫路市青山で)

化石展示場整備へ

上久下地域づくりセンター

自然「学べる場所」に

「上久下自治協議会」などは、同地区の地域づくりセンター(山南町下池)2階の大会議室を「化石展示場」として改装し、一般への開放を始めた。地元住民の関心を高め、施設を有効活用したに見



恐竜だけでなく、さまざまなジャンルのもを並べた「図書コーナー」(山南町下池)

図書コーナーも充実

「化石」を並べた展示場や、恐竜だけでなく、さまざまな動物の化石を並べた展示場も充実している。購入費用は、県民交流広場事業の助成金を受けた。
「図書コーナー」には、1大人も子どもも学べる本(2)を「コンプレックス」の隣の写真室にも置いて、関連する化石展に合わせた展示も行う予定。使用できる道路や車山に関する資料の提供は、上久下自治協議会、野交の作り手、小学校の教諭らが協力している。

また、木製の丹波産の骨格標本のほか、尾椎、血道管などの化石レプリカも展示している。

同センターの村上茂さんは、「化石の現物をいながら、本で学習する」とことで、より感覚や自然に心がわくような場所にしてほしい」と話している。

切り妻屋根に白壁

佐治自治協議会 役場跡地に拠点完成

青垣町佐治小校区のコミュニティセンター「米菜館」(同町佐治)のしゅん工を祝う式典が18日、開かれた。住民ら約200人が、切り妻屋根にしゅん工の白壁、ペンから塗りで商家風の外観を持つ新施設の完成を祝った。建設場所は、旧青垣町役場跡地。

県民交流広場事業と市の自治協議会の活動拠点施設整備事業補助金などを活用、敷地面積約1200平方メートル、木造平屋建て瓦葺きで、建築面積約204平方メートル、広間(約82平方メートル)、茶室(約19平方メートル)、同自治協議会の事務所を兼ねる帳場(約16平方メートル)などを備える。



新施設完成を祝い集まった住民たち(青垣町佐治)

板間も等しい。八宿まつりなどのイベント時に使いやすいようにと、前面を走る市道へ同施設、施設裏手の芝生はりのコミュニティ広場の間の段差をなくし、一体的に使えるように工夫している。スポーツクラブ

①住まいの相談
「おきく」
TEL 0795-74-1121

③丹波市佐治地区
丹波新聞(21.4.23)

「佐治のまち」の「佐治自治協議会」は、役場跡地(しゅん工)もあり、多くの人が「拠点」なれば」と話していた。

④神戸市北区有馬地区
神戸新聞(21.4.28)



有馬温泉の長い歴史が学べる特別展「かんぼの宿有馬」

有馬温泉にまつわる古くからの宿有馬で開かれて文書や写真を集めた「有馬温泉の特別展が、三俣式は」などの三折クワイ十日まで北区有馬町か

有馬温泉は、有馬ふれあいのまちづくり協議会が二〇〇六年、有馬地域福祉センター内に開設、約千点の書籍や写真、地図などを収蔵する。「有馬の歴史を知ってもらう」ことで、利用者がよりお湯を楽しめるのではとかんぼの宿有馬の羽川純一総支配人をが同協議会に展示を依頼、同協議会も「たくさんの方に見てもらえれば」と快諾した。今回は「有馬の歴史」と題し、有馬小学校が開かれる地域合同運動会や文化祭、桜や雪の風景といった四季折々の写真を紹介した。有馬の年表や、江戸時代の「温泉湯効能番付」なども並ぶ。無料。午前十時～午後五時。かんぼの宿有馬 078-804-0000

⑤宝塚市宝塚第1地区
毎日新聞(21.7.19)

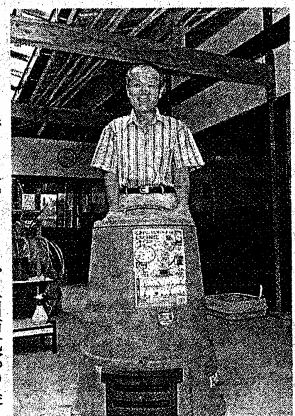


自分の描いた絵を指さす子どもたち
—宝塚市野上1の市立宝塚第一小で

模擬店に長い列 宝塚で夏祭り 宝塚市野上1の市立宝塚第一小学校で18日、「みんないっしょ夏まつり」が開かれた。05年に始まったまつりで、今年は4回目。焼きそばやフランクフルト、かき氷など、夏祭りのおなじみの模擬店に長い列ができた。会場中央のやぐらには、同小児童らが「元気をテーマに描いた絵が377枚並べられ、祭りに華を添えた。浴衣姿の子どもも多く、2年生の喜来沙耶ちゃん(7)は、オレンジ色の浴衣を着て「うれい」とはしゃいでいた。【中里顕】

⑥三田市高平地区
神戸新聞(21.7.19)

地域ぐるみで生ごみ削減、堆肥化



「夏場なら1日約400kgの削減効果がある」と語る福井さん。三田市田中

家庭ごみを減らすべく、三田市北部の農業地域、高平地区(14区、約1000戸)の住民たちが、コンポストによる生ごみの堆肥化に取り組んでいる。堆肥は各家の畑に使う。土地の特性を生かした、地域ぐるみのユニークな試みだ。呼び掛けたのは、高平地区区長会の福井英男会長(66)。同市が家庭ごみの10%削減を打ち出したのを機に昨春秋、各区の区長らに提案すると、「いいじゃないか、すぐやろう」と盛り上がった。福井会長は「1人もそっぽを向く人はおらず、気持ちを押してくれた」と振り返る。早速地元で商品の見本を並べ、住民らから注文を受け付けた。購入費には同市の補助制度を利用し、ホームセンターは店頭価格より安価で提供してくれたという。同地区婦人会もPR面で協力し、1005世帯が計230基を購入。商品は福井会長や各区長らが1軒ごとに配達した。福井会長は「みんなの環境への意識は高く、要はきっかけが大事なのだと感じた。熱意さえ伝われば、ほかの地域もできるはず」と語る。(松本寿美子)

◆三田市・高平地区

⑦南あわじ市倭文地区
神戸新聞(21.7.27)

田舎暮らしで活性化を

南あわじ市 ■ NPO法人「ふるさと応援隊」理事長
北谷 雅良さん (61)

都市と農村の懸け橋に



少子高齢化が進み、放蕩行
林や荒れた田舎が自立的な
あわじ市を「起死回生」
多岐形、無形地域振興を
活用して、まちづくりがな
けい、同地区の住民の
15人分の0.001、特定非
利活動法人の0.01など、
るご活躍を遂げた。
放蕩行や空き家、田舎の
のフタの「農を」を
に都市農村の交流を推
め、まちづくりを促して
活動の場を。
月間実施している「農村
ボランティア受け入れ」は、
退職した1期の人や学生
会」としてふるさと応援隊
の活動を、専ら町や野営の
取組を取り進め、
北谷の協力で、既に天
原や神戸の家の家が田
舎暮らしを始めて、20年
前からの農村の夢を思い
いた福祉の取り組みも、
と応援隊の活動は、福島の
地、同市倭文地区の
「都市と農村の懸け橋」と
なると北谷は語る。南あ
わじ市を起死回生する

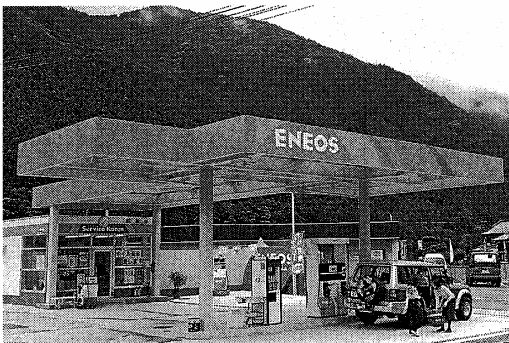
⑧神河町長谷地区
神戸新聞(21.7.30)

21.7.30 神戸新聞 (第3種郵便物認可) 神河町長谷地区⑧

住民が共同出資した会社が運営
する兵庫県内唯一のガソリンスタ
ンド「村営ふれあいSS」(神河
町長谷)が開業し、1年が過ぎた。
高齢化が著しい地域社会を支える

が、原油価格の乱高下のあおりで
初年度は赤字に終わった。「地域
ぐるみで何としても支えたい」。
住民たちは安定経営を模索してい
る。(神崎支局・土井秀人)

「村営スタンド」苦戦



山あいに立つ「村営ふれあいSS」。全世帯が出資した
会社が経営する＝神河町長谷

山あいに立つ「村営ふれあいSS」。全世帯が出資した
会社が経営する＝神河町長谷

全世帯が共同出資、発足1年
長谷地区は人口約千
人の山あいの集落。町中
心部から北に約20キロ離
れ、高齢化率は6月末現
在37%の月末の県平均
21.9%で、0集落中
3集落が90%を越す。
2008年、ガソリン
スタンドを運営していた
J A兵庫西が不採算を理
由に、長谷地区に店し
かないマーケットとも
に撤退した。別のスタン
ドは約7キロ離れており、
特に高齢者は、灯油や農
機用の軽油の購入が困
りになった。
そこで全316世帯が
1万円で出資し、資本
金316万円で「株式会
社長谷を設立。社長に元
区長の大森康雄さん(76)
が就任し、同年2月にマ
ーケットを併設したス
タンドを開業した。建設
費などは、関西電力水力
発電所を誘致した際、同
社から寄せられた約1億
3千万円を充てた。

原油乱高下響き赤字 地域ぐるみ存続模索

だが、運営は順調とは
いえなかった。役員14人
を無報酬にし、赤字回避
を目指したが、原油価格
の高騰と下落に悩まされ
た。当初1円当たり16
7円で仕入れたが、周辺
スタンドに合わせ、10月
末には同156円で販売
せざるを得なかった。ま
た、町外で働く人は別の
スタンドを利用する人
も、売り上げは目標の約
9割にとどまり、初年度
は約80万円の赤字が出
た。
社長の大森さんは「全
世帯が出資しており、住
民に『おらが店』の意識
が浸透すれば、利用者も
増えるはず」と住民に利
用を呼びかける。
■
広島県安芸高田市でも
2000年以降、J Aの
撤退に伴い、高宮町川根
地区(約70人)で住
民組織がスタンドを運営
している。
08年は石油価格の乱高
下などで約100万円の
赤字が出たが、それまで
は赤字幅も小さく、07年
は採算ラインに乗った。
赤字が出た年も、地域の
祭りの収益などで補てん
し、経営を続けている。
事務局長の藤本悦志を
念している。

全国の過疎地でスタン
ド経営が危機に直面して
いる。全国石油商業組合
連合会(全石連)の08年
3月の調査によると、山
間部などでは1〜3万所
しかなく、経営難や後継
者の問題などで1店もな
くなる恐れのある町村は
全国で153に上る。一
方、神河町のように、地
域住民が会社を設立して
運営している例は少なく
とも数カ所あるという。
全石連の担当者は「地
域の実情に合わせ、行政
も協力しないとなくなっ
てしまう。スタンドは地
域のライフライン。生活
への影響は大きい」と懸
念している。

◎加西市宇仁地区
神戸新聞(21.9.6)

ブドウ狩りや朝市楽しむ



地域の魅力を伝えるため「加西・コレンベリ」に企画。両協議会は11月1日(土)に宇仁郷まぢくり協会の月1日、加西市立宇仁小学校と芦屋市の子どもが、鮮やかな「おいしい」域の良さを知り、交流のサツマイモ掘りと舌鼓を打った。芦屋市を計画しており、下見を兼ねて実施した。ブドウ狩りでは、特産4年の高橋亜衣ちゃん

味わい交流

■宇仁郷まぢくり協議会■

加西の自然

⑩はブドウ狩りのほか、甘くておいしい。

加西市と郷まぢくり協議会が、芦屋市の翠ヶ丘町まぢくり協議会を通じて芦屋市民に人々の垣根を越え、朝市やブドウ狩りを楽しむための交流イベントを開いた。朝会から訪れた親子連れは、緑あふれる大自然を満喫していた。(佐藤由佳)

もぎたてのブドウの甘さを味わう参加者。加西市田谷町

⑩加東市上福田地区
神戸新聞(21.9.15)



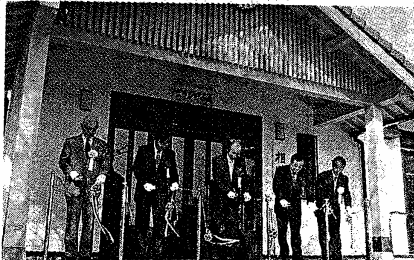
高齢者集いお茶やおしゃべり 「憩いの場に」住民企画

加東市上三草の交流施設「三草ふれあい広場」に、このほど住民らによる「ふれあい喫茶」がオープンし、お年寄りが約60人がお茶やおしゃべりを楽しんだ。三草ふれあい広場は、やしろ国際学園の駐車場南側に、今年3月、県の助成で建てられたレハブの建物。ふれあい喫茶は高齢者の憩いの場

ふれあい喫茶でおしゃべりを楽しむ住民ら。加東市上三草

⑪三田市藍地区
神戸新聞(21.11.2)

地域の新たな交流拠点に 下相野 相野栄会館を新築



テープカットで完成を祝った落成式＝下相野

下相野の相野栄会館が、相野駅周辺の住民でつく新築され落成式が1日、同会館で行われた。地域交流広場事業から助成を受けて会館を建て替えた。約60人を収容できる大会議室や調理室のほか、スロープなども設け

祝った。

同会館は約50年前、旧有馬郡藍村の藍南小学校跡地に、JR相野駅の旧駅舎を移して開館。しかし老朽化が進み、今回、定以上に立派な建物で

きた。高齢者や子ども使える、地域の交流拠点にしたい」とあいさつ。その後、もちつきも行われた。

(横田良平)

に地元住民らが企画した。婦人会のメンバーがおいしいコーヒーの入れ方を学び、地元の女性グループが手作りケーキも準備。初回となった9日には、ゲストホール

の練習場りの高齢者が集まり、和やかに世間話に花を咲かせた。毎月第2、4水曜の午前9時半～11時半に開

(堀井正純)

城南まち協で児童クラブ

市内初の 民設民営 運営母体のNPO設立

城南地区(市)への協賛は来年夏を目途に、市内で初めてとなる「民設民営」の放課後児童クラブ(学童保育)事業に取り組み、事業が安定して継続できるよう、運営母体となる「城南まち協」(代表:酒井長治)の協議会(全副会長)を組織し、酒井代表は、玉穂家庭を助けた。熱意をこめて活動している。(古田 純)

15日、ボランティア、児童ボランティア、城南口警察への呼びかけも、ボランティアは富山福祉会委託で、城南口NPO、ミゼンで月1土曜日の午後に活動している。利用料は市内施設に比べて、A、更生保護委員会、要る。放課後、家庭で保育、年度を通して利用する場合は、月1金曜日利用が、市備委員会のメンバー、ボランティア(準備)で、月額6000円、月1土曜日の午前、城南小学校、読み聞かせ、工作、長約30分外出した。紙着な心をすまはか、



放課後児童教室で指導員と児童を助ける。城南まち協。来年度からNPOで運営する。

スタッフは、教員免許をもつ正副主任指導員1人と、パートの指導補助員を3人以上雇う。初年度の事業計画では、経費を約520万円と見積もり、国の補助金受給に引いた約210万円について、市に補助金交付申請を提出している。ボランティアの協力で、公設公営に比べて経費はかなりの節減をえている。市内の児童クラブは現在、公設公営が1カ所、(味)、公設民営が5カ所、(全)、西沢、藤山、藤山、城北、岡野、民設民営の3カ所は、A、丹波地区でも、2カ所

域の規模がある。城南まち協は現在、児童が210人いる。通年利用者の定員を30人としており、現在、23・24人同歩調は、子育て支援を活動の柱の一つに位置づけ、08年には児童が200人。

児童クラブ開設を提案して、市民交流広場事業に採択され、1000万円の補助を受けて城南口ミゼンを増設した。08年10月から、小学校低学年児童を対象とした園の「放課後子ども教室」事業に取り組み、週1回、城南口ミゼンでボランティアが運営している。城南小学校は現在、児童が210人いる。通年利用者の定員を30人としており、現在、23・24人同歩調は、子育て支援を活動の柱の一つに位置づけ、08年には児童が200人。

⑬篠山市城南地区
丹波新聞(21.12.20)

⑫神戸市西区西神南地区
朝日新聞(21.12.16)

家事手伝ってポイント

主婦ら「ふくし銀行」設立

将来のサービスゲット



「井吹くし銀行」の利用者(左)に昼食を準備する会員(右)。援助活動を通じて30分にきり、が加算される神戸市西区井吹台西町1丁目。

お年寄りの家事を手伝ってポイントがたまり、将来の分のサービスを受けることができる仕組みを、神戸市西区の西神南ニュータウンに住む主婦たちがつくり、若らから住居団体の共助にかかわり、ふくし銀行の活動に力を入れている。高年齢化に備えるが狙い。(小野大輔)

きりが食に並んだ。雑にも花が咲き、おとという間に1時間。女性は「ありがた」と言いつつ、西山さんには紙を枚手渡した。「井吹くし銀行」で書かれたチケットだ。

くし銀行は、西神南ニュータウンの主婦や自治会長ら約20人が立ち上げた任意団体だ。5月に吹置地域福祉センター内に事務局を開き、10月から活動を始めた。

家事援助を受けたい人は10枚つづり、5000円のチケットをくし銀行から購入する。1枚で30分のサービスを受けられる。一方、世話をした人には30分つきポイントがたまる。自分や両親、配偶者が世話をされる時には1枚で30分間のサービスが受けられる仕組みだ。

ポイントの管理をするのがくし銀行の役員。会計担当や簿記の計画を決める社会福祉士など約10人のボランティアが事務局に携わる。県から年間6万円の運営助成金を引き出し、お昼付きも得た。会計担当の伊藤寿英さん(65)は「行政からの支援と信頼で、くし銀行の信用性が高まって」と話す。

「地域が高齢化してからは間に合わなくなりました。くし銀行代表で民生委員の坂本津南さん(68)は、ニュータウンの坂本津南さん(68)は、ニュータウンのイメージがよかった。

98年に完成した西神南は、市内で最も新しいニュータウンだ。阪神大震災後は14棟の高層マンションが建ち、10月現在の人口は2万8千人のぼる。住民の大半は40・50歳代、一方、65歳

時間預託制度、庭の手入れや病院の送迎、家事援助などの奉仕活動に携わった「時間」を貯蓄する仕組み。高齢になった時、貯蓄した分を引き出して必要なサービスを受けられる。NPO法人「ニッポン・アクティブライフ・クラブ」(本部・大阪府中央区)が94年から先行的に取り組んでいる。同クラブは41都道府県に約2万6千人の会員がいる。

西神南ニュータウン

高齢化へ共助の備え

市地下鉄西神南駅に近い西神南台町1丁目の市住宅。足の不自由な入居者の女性(88)の部屋に、近くに住む西山知恵さん(69)が家の手伝いに訪れた。

植木の手入れや昼食の準備を手際よくこなす。ほどなく、おかずやお茶

以上の住民の割合を示す高齢化率は00年に10・5%だったが、05年に11・7%、今年10月には12・1%に急げに上昇している。

大阪府豊中市と吹田市の「三里ニュータウン」では、62年に入居が始まり、80年の高齢化率は4・7%だった。ところが、05年には26・1%まで上昇した。坂本津南は「うちもいれおれニュータウンになる。現役世代の多い今のうちに、地域で支え合おう」という思いで、地域で支え合おうと、くし銀行を立ち上げた。

坂本さんは10年前に義母の喪を継いだ。「用事があって誰か預かってほしい」と思っても、頼める人がなかった。坂本さんと銀行を運営する「くし銀行」の役員は「くし銀行」を立ち上げた。くし銀行は、くし銀行の役員は「くし銀行」を立ち上げた。

福住校区まちづくり協議会

古民家を改装し拠点に

人口倍増めざし展開

福住校区まちづくり協議会の若手チーム「2030プロジェクト」が、校区のまちづくりに向け、さまざまな企画を立ち上げている。旧街道沿いの古民家を改装した拠点づくりに向け、11日に現地で開催した座談会「みんなの考えよう古民家の改装before/after」もいよいよ企画が進んでいく。座談会「みんなの考えよう古民家の改装before/after」もいよいよ企画が進んでいく。座談会「みんなの考えよう古民家の改装before/after」もいよいよ企画が進んでいく。

若手チームがリード



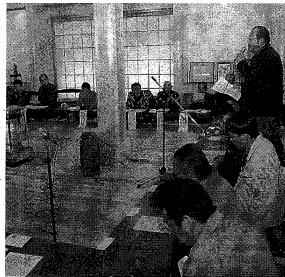
まちづくり協議会の拠点として改修する古民家で座談会に参加を呼びかけるスタッフら。福住校区まちづくり協議会主催。座談会「みんなの考えよう古民家の改装before/after」もいよいよ企画が進んでいく。

拠点づくりは、県の県民交流促進事業助成を受けている。事業費は1300万円。場所は、空き家となつている。江戸時代後期建築の建物。来年度に工事を行う。住民も盛り込みに参加できないか考える。空き家の再生も活用できるか。出番のオーナーや若者の移住につなげたいと考えている。座談会「みんなの考えよう古民家の改装before/after」もいよいよ企画が進んでいく。

⑮篠山市福住地区
丹波新聞(22.1.10)

農業通じふれあい

篠山 真南条上宮農組合
都市住民ら150人参加し交流会



都市部に暮らす住民らとの交流を取り組む真南条上宮農組合(酒井勇代表理事)は18日、篠山市真南条上の龍藏寺で都市と地域のふれあい交流会を開いた。地域の農業者や市民、神戸大、行政など15組織の関係者ら計約150人が参加した。午前の討論会では、

酒井代表理事が、08年に行われた「校豆列りツアー」の受け入れを皮切りに都市住民との農業ボランティアや農業者の受け入れ、神戸大との連携による「母波の赤じやが」生も農業への関心が高まっている。都市住民との交流の輪が広がっている。午後、神戸シルバーセンターのメンバーによる手品や人形劇なども催された。



炊き出しに当時思う

交流広場開所を記念
西明石駅南 花園地区

花園地区連合農会(池内勝)は16日、J土明石駅前広場に完成した地域の交流広場(ほろの場)の開所式典で、地元ボランティアによる炊き出しを行った。同広場は阪神淡路線震災後に被災者向け仮設住宅が建設された経緯もあり、食料が不足した年節をしのぐ。炊き出しでは、来賓やまちづくり住民約200人に豚が振る舞われた。親子味噌汁、そば、田舎うどん、小久保は「互いに助け合う気持の伝達を思う」と話した。

⑭篠山市城南地区
毎日新聞(21.12.20)

⑯明石市花園地区
神戸新聞(22.1.17)

⑰新温泉町八田地区
日本海新聞(22.1.17)

但馬



但馬支社
〒669-6701
美方郡新温泉町芦屋145-3
TEL(0796)82-4541
FAX(0796)82-4544
豊岡通信部
〒668-0052
豊岡市九日市下町24-3
ガーデンプラザA201号
TEL(0796)29-2003
FAX(0796)29-2005

純生
かみ岩
岩育ち

郷土料理やゲーム堪能 新年のつどい



11時半に開会。地産地消の「おひる弁当」約70人の住民を以てな

が16日、同町千合の八田で開かれた。昼食交流会で、午前11時半に開会。地産地消の「おひる弁当」約70人の住民を以てなを製造、販売している。交流会の後は腹括術や同交流会の「若あゆぐ」会費の後は腹括術やルールの女性12人がビンゴゲームなどのゲーム腕を振り、エビやクリ、トランプなどで盛り上げた。郷土の正月料理で、手ごった。 (津田一典)

地域コミュニティ・アワード
「すくすく広場賞」受賞
新温泉町の八田小学9の部門賞の一つです。地区で郷土料理研究や「すくすく広場賞」を等賞朝市などを展開する八田文化交流会が、住民の活動を通過コミュニティの活動を通じ、内518校区のうち、テイ1つを盛り上げ、特徴的な活動を行っている。ある「具民交流広場」月22日に加東市で開かれた「地域コミュニティ」に同アワードのイベントに参加。当日各々 (津田一典)

2008年度に同事業採択された同会は組織内の各グループが弁当の製造販売をはじめ、朝市の開催、伝統芸能の継承などを展開。新リーダー養成や財源確保の工夫など継続運営への取り組みなどが評価された。

清水会長(76)は「これからの地域おこしにつなげる活動を盛り上げ、模範になる事業にしたい」としている。

⑱香美町射添・兎塚地区
神戸新聞(22.1.30)

射添と兎塚に「県民交流広場」



旧中学校の技術室を改修した県民交流広場＝香美町村岡区川会

地域の活性化拠点となる「県民交流広場」が香美町長が運営。地区を流れる村岡区の射添、兎塚地区で矢田川を中心とした環境意識の啓発活動や、芸術的な典がある。射添地区では昨年春に統合された旧射添中学校の技術室を改修して、射添地区の広場は、「射」に加え、机やイス、テレビ

香美・村岡 きょう完成記念の式典

などの備品を購入した。式典は午後1時からで、保育園児による竹太鼓や、住民の尺八の演奏、傘踊りの披露などがある。

一方、兎塚地区では地区公民館の3階を改修。間仕切りを設け、内装を整えたほか、机やイス、パソコン、音響装置などを購入している。「兎塚の伝統文化継承と活性化推進委員会」(井上政信会長)が、盆踊りや練り込み、傘踊りなどの伝統文化・技能の継承などに取り組む。式典は午前10時半からで、保育園児による踊りや住民による傘踊りなどが披露される。

同町では17日に、香美区の佐津地区県民交流広場が完成しており、10小学校区のうち、9小学校区で同広場の整備を終えている。

(小日向務)

⑳兵庫ジャーナル
(21.5.11)

ユニーク発想を県政に

県職員提案事業化テスト推進事業



高藤副知事がプロジェクトチームの総括者に辞令を手渡した

県職員が主体的に政策課題の研究に取り組み、立案した施策を試行実施する平成21年度「職員提案事業化テスト推進事業」がスタートした。この事業は、職員一人ひとりの政策課題の解決に向けた取り組みを促し、従来の枠組みにとらわれないユニークな発想を県政に活かすのがねらい。19年度から隔年で行っており、今回が2期目となる。

地域の担い手づくりなど事業化取り組み

第一期の事業化テストの成果を受け、まちなかの寺子屋事業と人生まなび塾事業が昨年度から本格実施された。今年度から事業化テストを進めるのは、わが町わが村の「地域の担い手」発掘プロジェクトを推進する。地域活動の経験者がリーダーとなり、さまざまな技能、職業経験を持つ人材を発掘し、「地域の担い手」として養成する。事業化に取り組みプロジェクトチームは、提案者3人と所管課の3人で構成する。

プロジェクトチームへの辞令交付式は4月27日午後、県公館で開かれ、高藤副知事が各チームの総括者に辞令を手渡した。訓示に立った高藤副知事は、「通常業務を持ちながら、新しい仕事に取り組む」と

地域産業活性化情報発信の事業は、娯楽を目的とした趣味的文化をサブカルチャーと定義し、この情報を横断的に発信するウェブサイトを試験的に立ち上げ、サブカルチャーを活用した地域づくりの気運醸成を図る。チームは提案者3人と所管課の3人で構成する。

その意識が広がれば県庁の元気を

㉑神戸新聞
(21.4.28)

県職員提案の事業化テスト

県の職員が提案し、本年度から「事業化テスト」として採用された2事業について、県は二十七、事業を提案した職員らによるプロジェクトチームに辞令を交付した。採用されたのは「地域の担い手発掘プログラム」と「サブカルチャーを利用した情報発信」で、二〇一〇年度からの本格実施に向けて制度設計を固める。地域の担い手は、地域活性化を担うリーダー

地域の担い手発掘

サブカル情報発信

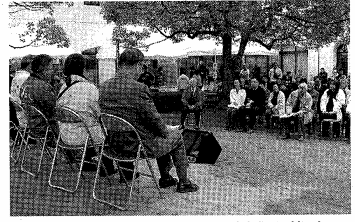
を地域の人の中から育てるもので、外部の専門家に活性化への指導を仰ぐ従来の方法と一線を画する。本年度は各原民局について一地区で候補者を集め、研修や活動に取り組んでもらう。サブカルチャーは、県内のアニメやコミック、B級グルメ、ご当地ソングといったサブカルチャーの資源に着目し、これらを集めたウェブサイトを作って地域の活性化

プロジェクトチームに辞令

化につなげる。二事業は、職員の研修プログラムの成果として提案された政策などから選考した。職員提案事業のテストは、〇七年度の「まちなかの寺子屋」「人生まなび塾」「何でも環境見せる化事業」以来二回目。本年度の予算は各百五十万円で、プロジェクトチームは複数部局の職員六十八人で編成する。(森本尚樹)

満たす要因になる。あとながりを大切に明るく元気に取り組んでほしい。来年度からの本格実施をめざして、5月から事業が進められている。

地域コミュニティ・アワード'09



県民交流広場の実施団体が日ごろの取り組み成果を発表する。4地域の代表が11月22日、県立青空フォーラムで開かれた「地域コミュニティ・アワード2009」の授賞式に出席し、賞状を贈られた。

県民交流広場の実施団体が成果発表
20団体にコミュニティ賞

また、「北はりま絆プロジェクト」交流広場大会「うれしの台で学ぶ世代間交流フェスタ」も同時開催され、生活研究グループや市町村が活動内容を紹介します。アワードは、計約1600人が訪れた。

はじめに、広場の代表者が共通課題の検討や広場全体の交流の場づくりを進める「県民交流広場全県連絡協議会」の設立総会を開催。このほか、運営の相談や情報交換などができる「地域ネットワーク会議」を設置した。

また、「青空フォーラム」も開かれ、4地域の代表者が広場の悩みや問題点などの意見を出し合ったほか、井戸知事も出席した。

受賞団体は次の通り。南県民交流広場推進協議会(稲美町)▽すくすく広場賞▽八田文化交流会(新温泉町)▽しっかり広場賞▽瓦木・深津県民交流広場運営委員会(西宮市)▽奨励賞▽その他15団体

協市)▽なるほど広場賞▽くましろふれあい広場推進委員会(南あわじ市)▽みんなど広場賞▽天満

県の県民交流広場事業

新たに98地区選定

県は、住民主体の地域コミュニティ活動に費用を助成する「県民交流広場事業」の実施地区に、新たに98地区を選んだ。事業の本格実施4年目で、実施地区は計518小学校区となり、県全体の62%に達した。

同事業は、小学校区単位の地域組織による活性化の取り組みに、県が最高300万円(5年間)を助成するほか、「コミュニティ拠点」の整備にも

了する2010年度にも140校区の取り組みが選ばれる見込みという。(森本尚樹)

県民交流広場PRで催し

県が進める「県民交流広場」の活動をPRする催しが22日午前10時〜午後3時、加東市下久米の県立楠野台生涯教育セン

ターで開かれる。ユニークな取り組みをパネル展示などで紹介するほか、朝市や地元の特産品販売・観光PRなどがある。同広場は、住民による地域づくり活動を県が支援する事業で、北播磨では35地区が選定されている。今回は県内全域から同広場の実施団体が参加し、ノウハウや課題の共有、意見交換を図る。

当日は同広場の全県連絡協議会の設立総会を開催。西脇工業高のソーラーカー展示や小野高校のダンスなどが披露される。紅茶づくりや焼き菓子など北播磨特産の食事を提供するコーナーもある。

入場無料。同センター
0795・44・0711

5 その他

◇ 県民交流広場事業の問い合わせ先

地 域	問い合わせ先	電話番号
神 戸	神戸県民局 県民室 県民協働課	078-361-8543
阪神南	阪神南県民局 県民室 県民協働課	06-6481-4397
阪神北	阪神北県民局 県民室 県民協働課	0797-83-3136
東播磨	東播磨県民局 県民室 県民協働課	079-421-9290
北播磨	北播磨県民局 県民室 県民協働課	0795-42-9513
中播磨	中播磨県民局 県民室 県民協働課	079-281-9320
西播磨	西播磨県民局 県民室 県民協働課	0791-58-2100
但 馬	但馬県民局 県民室 県民協働課	0796-26-3644
丹 波	丹波県民局 県民室 県民協働課 (丹波の森公苑 活動支援部)	0795-72-5168
淡 路	淡路県民局 県民室 県民協働課	0799-26-2043

◇ 県民交流広場公式ホームページ <http://www.hyogo.kouryu-hiroba.jp/>

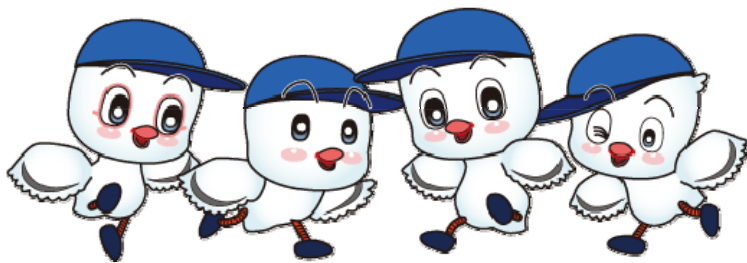
◇ 「ひよこむ」とは・・・[URL <http://hyocom.jp/>]



単に情報を発信するだけでなく、参加者が互いに友人を紹介しあって新たなネットワークを拡げたり、友人相互の関係を深めたりする新しい形のインターネットサービスである兵庫県版SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）。平成18年、NPOとの連携のもと開設され、県民交流広場を中心に地域づくりを実践する多くの県民に利用されています。

現在、「ひよこむ」には、「はばたけ県民交流広場」コミュニティが設置され、広場関係者だけでなく、多くの「ひよこむ」参加者に閲覧されており、各広場の情報発信などにご活用ください。

◇ ひよこむ活用マニュアル http://hyocom.jp/hyocom_manual/





兵庫県企画県民部県民文化局県民生活課

平成 2 2 年 7 月

〒650-8567

神戸市中央区下山手通5-10-1

TEL : (078) 362-4004

FAX : (078) 362-3908

E-mail : hiroba_seikatsusouzouka@pref.hyogo.lg.jp



古紙配合率70%再生紙を使用しています
「紙」へのリサイクル可

22企P1-009A4